

萩市企業景況調査

DI方式

《調査機関》

萩商工会議所

2019年 4月～ 6月期 実績

2019年 7月～ 9月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合(%)

人材の確保難が続き、先行き不透明感が強い。

景況の概要

2019年7月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率95%)

生産・売上 前期比は建設業とサービス業が減少、それ以外の業種は増加となった(平均10.5%)。前年同期比では建設業と小売業が増加、サービス業が横ばい、それ以外の業種は減少となった(平均▲10.0%)。今後(7～9月期)の見通しでは、サービス業が減少、小売業が横ばい、それ以外の業種は増加すると予測(平均8.9%)。

収益 前期比は、製造業・観光関連業が増加、建設業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲10.5%)。前年同期比は、建設業が増加、サービス業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲14.0%)。今後(7～9月期)の見通しでは、建設業・製造業・卸売業が増加と予測し、小売業・サービス業・観光関連業は減少と予測(平均▲1.8%)。

資金繰り 前期比は、卸売業が悪化、サービス業・観光関連業が横ばい、それ以外の業種は好転(平均3.5%)。今後の見通しでは、小売業が好転、建設業と製造業が横ばい、それ以外の業種は悪化と予測(平均▲7.0%)。

従業員数 全業種との人員不足という結果になった(平均35.1%)。

経営上の問題点 ①人材の確保難 33.3% ②需要の停滞 31.5% ③仕入価格の上昇、設備・店舗の老朽化 9.3%の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、全業種とも停滞と予測。特に小売業が▲75.0%と停滞指数が大きい。

景況に関する生の声 ■公共工事の発注が少ない(電気工事、土木建築)。■人材不足で生産量が不足気味(木製品製造)。■GWは観光客が多く売上も好調だったが、6月に入り例年以上に低迷している(水産卸、旅館)。■仕入価格上昇により資金繰りが困難(燃料販売、特産品製造)。■従業員が長続きしない。教育が難しい(電気工事、燃料販売)。■景況悪化のため、仕入先やメーカーが直接販売するようになってきた(事務用品卸)。■消費税増税の影響を心配している(専門品店、旅館)。■食品関連は好調だったが衣料品が苦戦。生鮮の見通しが不透明(大型店)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	▲10.0	22.2	10.0	25.0	▲30.0	50.0	10.5	6.7	14.5
	前年同期比	10.0	▲11.1	▲40.0	37.5	0.0	▲10.0	▲3.5	▲21.7	▲13.0
	2019年7月～9月期見通し	20.0	22.2	33.3	0.0	▲30.0	10.0	8.9	8.3	3.7
収益	前期比	0.0	11.1	▲50.0	▲12.5	▲30.0	20.0	▲10.5	0.0	3.5
	前年同期比	30.0	▲11.1	▲60.0	▲12.5	0.0	▲30.0	▲14.0	▲21.7	▲16.1
	2019年7月～9月期見通し	20.0	11.1	30.0	▲50.0	▲20.0	▲10.0	▲1.8	6.7	▲5.4
資金繰り	前期比	10.0	11.1	▲10.0	12.5	0.0	0.0	3.5	▲10.2	▲3.5
	2019年7月～9月期見通し	0.0	0.0	▲10.0	12.5	▲30.0	▲10.0	▲7.0	▲10.2	▲16.1
従業員数	2019年6月末	60.0	11.1	30.0	62.5	30.0	20.0	35.1	30.0	31.6
設備投資	(実績)	30.0	33.3	10.0	50.0	30.0	20.0	28.1	21.7	22.8
	(計画)	20.0	33.3	10.0	28.6	10.0	20.0	19.6	30.5	26.3
業界動向		▲40.0	▲44.4	▲50.0	▲75.0	▲66.7	▲50.0	▲53.6	▲30.0	▲24.6